



旧海軍司令部壕

旧海軍司令部壕 平和学習ワークシート（答え）

Q1. 日本軍がハワイの真珠湾を攻撃し、太平洋戦争に突入したのは

A. 1941年12月 8 日である。

Q2. アメリカ軍が沖縄本島中部（嘉手納、読谷、北谷）に上陸したのは

A. 1945年4月 1 日である。

Q3. アメリカ軍が使用した砲弾の数は何発でしょうか？

A. 砲弾数合計は 2,716,691 発である。

Q4. 沖縄戦での全戦没者数は何名でしょうか？

A. 全戦没者数は 200,656 名である。

【内訳】

○沖縄県民（一般県民） 37,139 名

○沖縄県民（戦闘参加者） 56,861 名

○沖縄県出身軍人・軍属 28,228 名

○他府県出身者 65,908 名

○米兵 12,520 名

（沖縄県援護課資料より）

Q5. 旧海軍司令部壕で収集された遺骨は何柱（人）でしょうか？

A. 旧海軍司令部壕で収集された遺骨は約 2,400 柱（人）である。

Q6. 旧海軍司令部壕はいつから造られ、いつ完成したのでしょうか？

A. 昭和 19 年 8 月着工、昭和 19 年 12 月完成

Q7. 地下壕を掘るのに使われた道具はどのようなものがあったのでしょうか？

A. 建設当時は電気や機械が無いため、旧海軍司令部壕は つるはし や くわ を使って、すべて兵士たちが手掘りで造った壕である。

Q8. 旧海軍司令部壕は第226設営隊（山根部隊）何名で掘ったのでしょうか？

A. 旧海軍司令部壕は山根部隊 3,000 名によって造られた。

Q9. 旧海軍司令部壕の「作戦室」がコンクリートや漆喰で強固に固められていたのはなぜでしょうか？

A. 作戦 を練るための重要な場所だったため、爆撃にも耐えられるように丈夫に作られた。

Q10. 旧海軍司令部壕はなぜ現在の場所に建設されたのでしょうか？

A. 沖縄戦で海軍の重要な軍事拠点である 小禄飛行場 を守るため。